

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-----------------------|---|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 徳島工業短期大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | トクシマコウギョウタンキダイガク |
| | 大学等名1(代表大学等)※学校コード | 85471 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校本部所在地 | 徳島県 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校種別 | 私立短期大学 |
| | 科目名 | インターンシップ |
| | 学部・研究科等名 | 専攻科 自動車工学専攻 |
| | 担当教職員名・役職 | 村上 和義：准教授、福栄 堅治：講師 |
| | 受講者数実績年度 | 令和3年度 |
| | 受講者数※インターンシップ参加者数 | 2 |
| | 受入企業等数 | 2 |
| | 受入企業等名 | (株)スズキ自販徳島、(株)ホンダ四輪販売岡山 |
| | インターンシップの分類 | 1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ |
| | 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 |
| | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容 | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細 | |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している |
| | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次 | 大学 専攻科2年 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数 | 大学 4単位 |
| | 2-5.上記回答内容に関する詳細 | インターンシップの単位は30日(240h)の実務実習とし、レポート提出を義務付けている。 |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
| | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容 | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている |
| | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容 | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | 3.その他 |
| | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容 | 教職員が、期間中企業訪問をして、実習状況を確認している。 |
| | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細 | |
| | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細 | |
| 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細 | | |

| | | |
|--------|---|--|
| 要素④ | 4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1. はい |
| | 4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み | 4. その他 |
| | 4-2. 「4. その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み | 実習レポートの提出および企業の評価を取り入れている。 |
| | 4-3. 上記回答内容に関する詳細 | |
| 要素⑤ | 5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1. はい |
| | 5-2. 該当する実施期間 | 1. 連続した5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合 | 4月に1～2週間程度が実習期間であり、残りの実習は夏休み実施する。(連続) |
| | 5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合 | |
| | 5-2. 「4. その他」の実施期間の内容 | |
| | 5-3. 上記回答内容に関する詳細 | 学生は、夏休み返上で実務実習（インターンシップ必修科目）を実施しており、かなり厳しいカリキュラムと考えている。 |
| 要素⑥ | 6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1. はい |
| | 6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容 | |
| | 6-3. 上記回答内容に関する詳細 | 特になし |
| | 7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 徳島工業短期大学 |
| | 担当部署名 | 庶務課 |
| | 担当者役職名 | 庶務課長補佐 |
| | 担当者氏名 | 山脇善子 |
| | 電話番号 | 088-672-2311 |
| | メールアドレス | y.yamawaki@tokuco.ac.jp |